

☆地域包括ケアふじえだプロジェクト☆

令和元年10月29日 VOL. 122

“医療・介護・福祉フォーラム2019” 市民とともに「平穏死について」



令和元年10月19日（土）藤枝市生涯学習センターを会場に「第8回 医療・介護・福祉フォーラム2019」【主催：藤枝市 志太医師会（会長：錦野光浩氏） 後援：静岡県中部健康福祉センター】を開催しました。

今回は「平穏死について ～多くの人が地域ですべきこと・かかりつけ医がすべきこと」をテーマに兵庫県尼崎市で長尾クリニックを開業し、外来診療から在宅診療まで“人を診る”総合診療医を実践する長尾和宏先生をお招きしました。

長尾先生は日本尊厳死協会副理事長や日本ホスピス在宅ケア研究会理事を努め、『「平穏死」10の条件』『親の「平穏死」を見届ける』『胃ろうという選択、しない選択』などの多くの著書があります。その豊富な知識や経験及び有名人の最期の看取られ方などの事例を紹介しながら、関西人らしい笑いあり、聴講者の心の琴線にふれる涙ありの講演となりました。60代～80代の人を中心に**自分の生き方や親の看取り**と重ね合わす市民及び医療や福祉の専門職など240人が聴講し、アンケートでは回答者のほぼ全員から「とても良かった」という感想がありました。本市では、志太医師会在宅医療サポートセンター（センター長：杉浦正司氏）と協働し、今後も市民とともに「平穏死」や「より良く生き逝くために」などについて語り学び合う機会を継続していきます。



医療・介護・福祉フォーラムの経過について

2012年（平成24年）地域の医療・介護・福祉に携わる人が一堂に会し、互いの立場を理解し、学び合う場としてフォーラムの開催を始め、本年が8回目の開催となりました。

第1回	平成24年	地域で生きる、地域で支える ～藤枝市安心システムの構築をめざして～
第2回	平成25年	地域包括ケアで安心して暮らせる町を創ろう ～尾道市医師会の取り組みに学ぶ～
第3回	平成26年	在宅療養を実現する多職種の力 ～志太医師会方式の構築を考える～
第4回	平成27年	地域包括ケアを深める ～病院完結型から地域完結型へ 専門職の役割～
第5回	平成28年	医療も変わる、介護も変わる みんなで創る在宅医療
第6回	平成29年	病院以外での様々な看取り ～在宅医療における課題～
第7回	平成30年	平穏な最期を迎えるために ～様々な立場から考える～

第1回～7回まで
会場：志太医師会館他

第7回のフォーラムで、症例紹介や取組報告のあと、初めて**参加者130人が17グループに分かれて意見を交換**しました。そこには、医療専門職に福祉職やケアマネ、さらに一般市民も参加しました。その意見交換会終了後、**医師からは「市民と話ができて新鮮な経験」という感想が、市民からは「多くの人が支えてくれることに感動しました」という声**が上がりました。この意見交換会を通して、専門職のみならず市民と一緒に「平穏死」や「看取り」について考えることが大切であり、ともに地域に向いて小単位での「平穏死を考えるつどい」を行うことにし、平成31年3月の高洲地区交流センターを皮切りに、青島南や稲葉地区交流センターにおいて「市民とともに平穏死を考えるつどい」を開催しました。この出前型の交流の中で「**長尾先生の講演をぜひ聞きたい**」という声が上がリ、今回の第8回フォーラムが長尾先生による講演会の開催となりました。

第7回の意見交換会はこんな感じでした
会場：志太医師会館・藤枝市保健センター



バックNo.の検索は

